

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 9月 19日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|---|-----------|--|
| 事業所番号 | 3470202684 | | |
| 法人名 | 医療法人ピーアイエー | | |
| 事業所名 | グループホームつばい | | |
| 所在地 | 広島市佐伯区坪井三丁目818番地の1 (電話) 082-923-8387 | | |
| 自己評価作成日 | 平成26年8月7日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3470202684-00&PrefCd=34&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 平成26年9月8日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

「我々グループは幸齢社会を創ります」の理念のもと入居者様に、安心してゆったりとした生活を送っていただきながら、お一人お一人の「今」を満足していただけるよう支援しています。そして、四季折々の行事や毎日の散歩、料理作りや後片付けなどを通して自分らしさを発揮し、得意なことが生きがいにつながるよう取り組んでいます。
母体のナカムラ病院に隣接しており、日頃の健康チェックはもちろん急を要する医療にも迅速に対応します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

この事業所は市街地に接する山間部の中腹、住宅地の端に位置し認知症高齢者治療を専門とする運営母体の病院に隣接している。それは医療連携で安心なことは勿論、年数回、病院ホールで行われる演奏会や作品展等の行事は地域住民との交流の場ともなっている。瀬戸内の海も望めるリビングを始めとする共用空間はシックな造りで明るく、整理整頓が隅々まで行き届き清潔感に溢れ、気品さえ感じさせる。ここでは「GHの初期の形を大切にする」を念頭に、食事作りを始めとして”持てる力を活かす、出来ることは全員でやる”を実践・継続している。また『今しかない』『今やりたいことを最優先する』を絶対基準として散歩・買い物・食事作り等、全員で頑張っている。よい環境の下、職員も生き活きと働き、それが利用者本位の優しい支援・面会者へのおもてなしにと好循環している。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 法人の理念と行動指針を定めた職員ハンドブックを全員が携帯し、毎朝の申し送りで唱和、確認、共有している。毎年ホームの目標を設定し、半年ごとに評価、見直しを行い、それに添った個人目標を立てて実践している。 | 全員が「職員ハンドブック」を常に携帯し、それに記された法人の理念・行動指針を毎朝一項目ずつ唱和・確認している。また職員全員参加で事業所独自の年間目標を設定し、半年ごとに皆でその評価や見直しもしている。更にそれに基づき半期毎の個人目標を立て、それらを実践に活かす一連の流れ（PDCA）が確立している。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 毎年恒例のご近所からの招待や、法人が開催する催しに入居者も参加し地域の皆さんと交流している。お祭りのお神輿は、毎年ホームに立ち寄ってくださいます。 | 隣接する母体の病院ホールに於いて納涼お楽しみ会や演奏会等の行事が年数回あり利用者・地域の方が参加し、交流が見られる。またご近所から三次人形とお茶でひな祭りの招待があり、地域の方々と共に楽しい時間をすごす交流の場となっている。散歩中の声かけもあり地域の一員として受け入れられ交流の輪は広がっている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 事業所の職員が認知症アドバイザーとして認知症サポーター養成講座の講師を務めたり、母体施設が地域の方々を対象に行う「認知症の方との関わり方」などの講演に講師として参加している。法人が発行しているコミュニケーション誌で、ホームの近況を書き込み地域に配布している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 2か月に1回、民生委員、老人会など地域の方に参加していただき、近況や事故等を細かく報告し助言や評価をいただいている。他の事業所からの参加があり、情報や意見をいただけることが、自分たちの見直しや励みになっている。 | 地域包括、民生委員、老人会会長の他、交流している他の事業所からの参加もあり、定期的に開催されている。事業所からの近況報告に続きそれぞれの立場の参加者からの発言もあり、各方面からの情報収集の場として活用されている。ただ家族の参加がだんだんに少なくなり、最近ではその参加が見られないのは残念である。 | 家族の面会時には運営推進会議の開催が口頭では告げられているが、文書での案内がされていないことはさびしい。家族と共により良い改善・運営を計る為、参加要請・協力要請は文書でなされることを望ましい。更に開催日時や議題の検討等、参加を促す何らかの工夫がされることを期待します。 |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | 運営推進会議を通して地域包括支援センターと情報交換している。認知症アドバイザーが認知症高齢者支援体制づくり会のメンバーとして連携を深めている。 | 制度や料金のこと等、運営上での疑問や不明点があれば都度、電話確認している。行政からは地域包括センターを通じ公民館での「地域の方々の為の認知症サポーター講座」の講師としての参加要請がある。双方、必要に応じて連絡を取り合い連携関係が保たれている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>身体拘束をしないケアについては、研修などを通して当然のことと理解している。日中は玄関を施錠せず、開けると音楽が聞こえるようにしている。自室のペランダへも自由に出入りができるようにしている。言葉による行動制限にも取り組んでいる。</p> | <p>年一回行う法人合同研修において身体拘束のテーマもとりあげられ、防止の徹底が図られている。事業所の年間目標にも「心地よい言葉遣い」を掲げており「それはダメ！」等の直接的で否定的な言葉を極力さけ、『言葉による行動制限』をしないよう注意・徹底が図られている。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>本人のモラル、業務や勤務体制に無理はないか。不適切な言動を見過ごすことのないよう、毎朝ハンドブックの読み合わせを行い、共通認識を高められるよう取り組んでいる。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>成年後見制度を利用中の方もあり、全員で制度の理解に努めている。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>本人、家族に見学していただき、相談員、管理者が説明し理解を得たうえで同意をいただきます。ご希望されれば、体験入居も受け入れ可能です。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>家族の面会時に意見や要望を聞き、全職員で共有しサービス向上につなげている。ご意見箱設置、年/1回家族会開催。ホーム職員に直接言いにくい時は、相談員や主治医へも相談可能。</p> | <p>玄関に意見箱の設置はしてあるが家族の意見・要望のほとんどは面会時に寄せられる。それらは情報として連絡帳に記入され職員全員で共有している。また必要に応じて「苦情処理台帳」に記録を残し関係者により改善の為の検討が行われている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 管理者が日ごろから意見を聞いたり、定期的なミーティングで話し合っている。 | 目安、月一回、行事があり全員出勤日となる日を選んで職員会議を開催している。"手作りおやつ"を毎月実施することや年休の取り方等はスタッフ意見が反映されている。また事業所の課題・要望は法人全体で開催される管理者会議で発言できる環境にあり、職員・家族の強い要望でスプリンクラーも取り付けられた。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 法人の就業規則と職能資格等級制度人事考課規定があり、年間の目標を設定し評価を行い、資格取得など各自が向上心をもって働くことができる環境づくりに努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 法人全体で研修計画を立て、力量に応じた研修の機会を提供している。研修内容の要望等も聞き、資格取得に前向きに取り組めるようアドバイスしている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | お互いの運営推進会議に参加し情報交換している。今後、事業者交流会への参加の機会を増やしたい。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 相談や見学時にお話を聞かせていただき、ご本人の気持ちや細かい情報もしっかりと申し送り、職員全員が共有できるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>ご本人が慣れるまで、できるだけ面会をお願いしご家族の要望や不安などを聞きながら、ホームの方針も理解していただけるよう努めている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>法人の相談員と一緒に対応し要望をしっかりお聞きし、入居検討会議で現在必要としているサービスを確認し支援につなげている。おためし入居も可能。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>ご本人の今やりたいこと、すすんでくださること、得意とされる仕事をお願いし、一緒に行い感謝の言葉を伝えお互いの信頼関係を築いている。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>ご本人が希望に添った生活を送っていただけるよう情報交換しながら支援している。ご家族は希望に添った対応をさせていただきます。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>電話をかけたり、お弟子さんや友人の面会に、とまどうことのないよう家族と協力しながら支援している。</p> | <p>利用者のお茶やお花のお弟子さんだった人が訪ねてくる時はスムーズに話しが進むまで職員も話の輪に加わるようにしている。また近所の昔の知り合い等が面会に来られる時は二人の関係を事前に家族に聞き背景を理解した上で迎え、馴染みの関係が途切れないよう支援されている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 利用者同士で部屋を訪問したり、お互いが助け合う姿も見られる。会話がスムーズにでき、皆さんに気持ち良く過ごしていただけるよう努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 退居後も遊びに来たり、行事などで交流も続いている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常会話から本人が生き活きとする内容や昔の生活歴、気持ちを汲み取り情報を共有し、やりたいことが実現できるよう支援している。対応可能なことはその場で対処している。 | 食事やおやつの時間、職員も一緒に過ごし会話の中から思いや意向をつかんでいる。特に風呂の時間は一対一で会話する為、本音が聞き出せる大切な場となっている。墓参りや外泊の希望は家族に伝え、実現できるよう橋渡しがされている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 職業や趣味、生活環境など家族からの情報、親戚や友人の面会時にお話を伺い把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | その方の表情が一番輝く時は何か、嫌いなことは何か、食べ物の好みなど一人ひとりの現状を記録し、細かく申し送り職員全員が情報を共有している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>定期的な見直し時に、日頃の状態や本人の気持ち、家族の意見や要望を聞き見直しをおこなっている。カンファレンスに出席できない職員には意見を書いてもらい全員の意見を考慮しケアプランに反映させている。</p> | <p>介護計画は基本的に3ヶ月に一度、定期的に見直しを行っている。全職員が気づきメモを提出し、前回分の評価を踏まえそれをもとに担当者がカンファレンスシートをまとめている。家族・本人の意見・要望を含め計画作成担当者が内容確認・修正したものを最終分として作成している。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>介護記録、連絡帳、日々の申し送りやミーティングで状態やケア方法、実践報告等細かく話し合い情報を共有している。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>法人内の機能を生かした対応、相談支援を行っている。薬剤師、栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士にいつでも相談や支援ができる環境が整っている。家族の宿泊も受け入れ可能だが、最近希望なし。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>行事などのボランティアをお願いしている。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>本人や家族の希望する医療機関への受診や母体病院での定期的な受診等、希望に添った対応をしている。夜間などの緊急時は、母体病院の医師に往診をお願いしている。</p> | <p>眼科や皮膚科等、家族・本人の希望する馴染みの病院をかかりつけ医としている。希望する人に限り母体病院をかかりつけ医とし月に一度、定期受診に出かけるが、状態の悪い時は往診に来てもらう事となっている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p> | 母体病院の看護師に体調管理や受診の相談がいつでもでき、アドバイスや支援をしてもらっている。 | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | 法人内の病院と連携している。他の医療機関へ入院の場合は管理者がお見舞いし、家族、担当相談員と情報交換し、退院後の生活支援を行っている。 | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | 入居時に重度化した場合の対応や方針を説明し同意を得ている。その後は状態に応じて話し合う。終末期の対応については、法人の医療機関の協力を得て支援している。 | 事業所での看取りは「医療行為が出来ないので病院で対応する」との法人としての基本方針を入居時に家族・本人に事前説明している。一方、重度化や終末期に於いて本人・家族が希望すれば医師の意見を聞きながら「事業所でギリギリまでお世話をしたい」がスタッフの気持ちであり意気込みでもある。 | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p> | 夜間の急変を軽減するため、日中の観察を細かく行うことを心がけている。急変時、主治医、家族と相談し手順を決めている利用者もある。救命講習に順次参加するように努めている。 | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p> | 法人内で支援体制ができており、年/2回避難訓練を実施している。五日市観音西地区自主防災会連合会と当法人で【災害相互応援協力協定】を結んでおり、災害時には避難場所の提供や介護援助をお願いしお互いが協力できるよう訓練も実施している。 | 火災発生時には消防署と合わせ隣接する本部にも自動通報され、応援がかけつける手筈となっている。法人と地域防災連合会で「災害相互応援協力協定」が結ばれ、相互協力体制が明確になっており合同訓練も行われている。3日分の備蓄もされ災害への体制は着々と完成に向かっていく。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 申し送りや日々の生活の中から気づきを話し合い、気分を害されない声かけの工夫や、周囲の方に聞こえないような配慮等を心がけて対応している。 | 他人に知られたくない、触れられたくない事項等は連絡帳や申し送り等で共有し、皆の前で話題に上がらないよう職員全員の意思統一を図っている。またボタンの掛け間違い等はまず服装を褒めてあげて、さりげなく直してあげ、誇りを傷つけない配慮・対応がされている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 職員の言葉が先走ることのないよう、一人ひとりに合わせたコミュニケーションを心がけている。今後もすべての方がそれぞれの思いを、もっと表せるように働きかけていきたい。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | どのように過ごしたいか、何をするのが楽しいのか考えて支援し、職員のペースにならないように心がけている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 美容院の希望や、その時に期待洋服など希望に合わせた支援をしている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 季節や好みの献立を職員が交代で考え、可能な方と一緒に調理や後片付けを行っている。食事を楽しんでもらうことを重要と考えて支援している。 | 包丁で野菜を刻む、テーブルを拭く、茶碗を拭き取る等、食事の準備から下膳まで出来ること得意とすることを利用者も含め、皆でこなしている。希望により献立に刺身を加えたり、松茸ごはんを加えたり季節感も大切にしている。また、ラーメンや寿司の外食も取り入れ、楽しい食事することに全力が注がれている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。 | 個々の状態を把握して対応している。量や形状なども一人ひとりに合わせて提供し，体重増加にならないように栄養バランスに気をつけている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 歯磨きの見守りや手伝いなど各々に合わせた支援を行っている。定期健診、クリーニング等、必要に応じて歯科衛生士の助言や指導を受けている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 排泄パターンを把握し，一人ひとりの応じた支援を行っている。排泄の失敗があっても，本人が恥ずかしくないように配慮し対応している。 | 個人の排泄に関する情報は職員間で共有している。利用者の一人ひとりの排泄パターンを把握し，表情や動作で排泄が近い事を察知しトイレに誘導している。おしめにするかパットにするか、排泄に関する事は「本人の気持ちを第一に」を基本的な取り組みとしている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 食材の工夫や水分摂取、散歩などをすすめ本人の希望も考慮しながら、主治医と相談し便秘薬使用。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。 | 会話を楽しむ入浴を心がけ、皮膚疾患のある方など各々の体調や希望に合わせた支援を行っている。 | 入浴は基本的には一日おきに行っているが希望すれば毎日でも利用してもらっている。一人ずつ、利用者と職員が一对一で入浴することにより話が弾み、楽しい時間となるよう心掛けている。また浴室は床暖房となっており、入浴しやすい環境も整えられている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p> | <p>安静時間を作ったり、個々の状態に応じた支援を行っている。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> | <p>個々の服薬による目的や副作用、症状の変化を見逃さないよう把握し確認できるよう記録している。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p> | <p>好きな事や得意とされることを職員と一緒にやっている。(料理の野菜切り、テーブル拭き、食器の片付け、掃除など) 趣味の習字なども自室で好きな時間に書かれます。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>お花見や外食などの季節の外出が難しくなっているが、毎日の散歩や法人の病院売店への買物など希望に添って支援している。</p> | <p>近くのお地藏さん参り、隣接する母体病院の売店での買い物、外に出ない時は建物を一周する回廊ベランダでの歩行等、日常的に散歩が行われている。季節には紫陽花や桜の見物の他、レストランや回転ずし等の外食にも出掛ける。またドライブを兼ねたドリミネーション見学に行く等、屋内に閉じこもらない支援がされている。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p> | <p>一人ひとりの希望や力に応じた金額を所持し買い物を楽しまれている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | <p>携帯電話の介助や手紙の代読などの支援を行っている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>花や絵を飾り、温度調節し気持ちよく過ごして頂けるよう配慮している。</p> | <p>玄関を入ると凛とした華麗な生け花が迎えてくれる。そこから続く廊下・リビング等の共用空間は整理整頓が行き届いている。空気の入れ替え、とりわけ臭いには細かく気が配られ、テレビの音量やつけっぱなしにも注意をしている。花や絵も飾られ皆が気持ちよく過ごせるよう細やかな気配り・工夫がされている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>リビングや食堂で皆さん思い思いに過ごしている。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>馴染みの物や写真など、それぞれのお好きな物を持ち込み暮らしている。</p> | <p>入居時には”使い慣れたものを”と説明し、椅子・テーブル・テレビ等、馴染みのものが持ち込まれている。新規購入して一度に持ち込もうとする方には”少しづつの準備”を勧めている。冷蔵庫については時折、中身の日付確認をし、本人に注意を呼び掛ける気配りがされている。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>戸惑ったり混乱することのないように、居心地良く過ごして頂けるよう配慮している。</p> | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームつばい

作成日 平成26年10月15日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|------------------------|-----------------------|---|------------|
| 1 | | 利用者の希望に添った外出支援ができていない。 | 利用者の意見や希望に添った外出支援をする。 | 日々の会話から気持ちを汲み取り、職員が情報を共有し、可能な限り希望に添った計画を立て実行する。 | 1年 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。